

「関西医療情報技師会」 設立趣意書

(背景)

これまで医療情報技師の間では、医療情報技師の手による講習会や勉強会の開催の希望や意思はあったものの、医療情報技師同士の連絡網を持たないため、それらを実施することが困難であった。しかし、上級医療情報技師のメーリングリストができたことにより、上級医療情報技師が中核になり、地域の学会支部、育成部会などとの連絡を取り合いながら、各地域で医療情報技師の活動を行う基盤ができてきた。

(趣意書について)

本趣意書は、関西の医療情報技師が自発的に集い、医療情報技師が今後の医療情報に貢献していくことを目指す「関西医療情報技師会」の設立を提案するものである。

(関西医療情報技師会の活動内容)

医療情報技師の間で医療情報の事例等の情報交換を行い、ノウハウ共有を図る。また、特定テーマを決めて議論を行い、継続的に医療情報技師としてのスキル向上を図るとともに医療情報技師の認知度を高める活動を行う。

以上の趣旨に賛同する医療情報技師に呼びかけ、「関西医療情報技師会」への参加を募るものである。

平成21年2月21日

<発起人>

宮原 勅治	(神戸市立医療センター中央市民病院)
大塚 博幸	(神戸市立医療センター中央市民病院)
長原 三輝雄	(金沢大学附属病院)
西 貴士	(大阪厚生年金病院)
真鍋 史朗	(京阪病院)
植田 裕士	(公立山城病院)
旭 隆司	(パナソニック健康保険組合)
大本 昭徳	(NECシステムテクノロジー)